

令和8年度 学力向上のための重点プラン【小学校】 新宿区立花園小学校

■ 学校の共通目標

【HP公開用・様式1・8年5月8日更新】

授業作り	重点	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末とノート指導を組み合わせ、児童が主体的・対話的に学ぶ授業づくりを推進し、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る。 ○デジタルドリルや東京ベーシック・ドリルを活用し、児童一人ひとりの学習状況に応じた学習を行い、基礎的・基本的な学力の定着を図る。
環境作り		<ul style="list-style-type: none"> ○授業のユニバーサルデザイン化を推進し、児童一人ひとりが安心して学べる学習環境を整える。 ○タブレット端末を効果的に活用し、家庭学習の習慣化と個別最適な学びの充実を図り、児童の学習意欲を高める。 ○読書に親しむ環境づくりや朝読書活動の充実を通して、語彙力・読解力・表現力の育成を図るとともに、必要な情報を的確に捉え、自ら学び、考える力の向上を目指す。

■ 学年の取組について

学年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学年	/	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の学びを生かし、安心して学習に取り組める環境（授業）作り ・平仮名・片仮名・数の概念などの基礎的・基本的な学習内容の定着 ・読書習慣の芽生えと、簡単な文章の理解・表現の基礎を育成する。 	<p>基礎学習の反復練習：平仮名・片仮名・漢字・数の概念の定着を図る反復学習を計画的に実施していく。</p> <p>操作スキルの育成：タブレット端末の操作に慣れる活動を段階的に設定し、2学期以降の学習活動につなげていく。</p> <p>主体性を育てる課題提示：児童が「やってみよう」と思える課題設定を工夫する。</p> <p>デジタルドリルの活用：算数科を中心にめあてをしぼり、短時間で取り組める課題を設定し、基礎的・基本的な内容の定着を図る。</p> <p>読書環境の整備：司書教諭と連携し、読み聞かせや図書室利用を促す。</p>
2 学年	/	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生で身に付けた基礎をさらに確実にし、文章読解の基礎力を高める。 ・自分の考えを話す・聞く態度を育て、学習への主体性を伸ばす。 ・読書習慣を継続し、語彙量を増やす。 	<p>基礎学習の継続的反復：漢字・計算の反復学習を計画的に実施していく。</p> <p>興味を引き出す課題設定：生活経験とつながる課題を設定し、学習意欲を高めていく。</p> <p>協働的学習の基礎づくり：ペア・グループ活動を設け、話す・聞く活動を増やしていく。</p> <p>デジタルドリルの活用：算数を中心に、個別最適な課題に取り組める環境を整え、基礎的・基本的な内容の定着を図る。</p> <p>読書活動の充実：司書教諭と連携し、朝読書や図書室利用を促進する。</p>
3 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・新宿区学力定着度調査の結果において、国語、算数ともに区平均を下回っている。基礎・基本の定着が課題である。 ・国語においては知識・技能、特に書くことの領域が区平均との差が大きく、算数においては思考・判断・表現、特に数と計算の領域が区平均との差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の確実な定着と、既習事項を活用する力を育成する。 ・語彙力の向上と、文章の構造を捉える読解力を育成する。 ・自分の考えを式・図・言葉で整理し、説明する力の基礎をつくる。 ・タブレット端末やデジタル教材・図書資料等を活かした、自ら学びを進める態度を育成する。 	<p>基礎反復＋辞書活用：音読・漢字・計算・作文の反復学習と、辞書を使った語彙学習を実施していく。</p> <p>思考を深める課題設定：対話や学び合いにつながる課題を設定できるよう工夫する。</p> <p>適用問題への取組：デジタルドリル等、個に応じて適用問題に取り組ませていく。</p> <p>協働的学習の充実：ペア・グループでの説明活動を増やし、相手の立場や意見を考えて話したり聞いたりできるようにしていく。</p> <p>図書資料の活用：司書教諭と連携し、図書資料を活用した調べ学習の方法を指導していく。</p>

4 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・新宿区学力定着度調査の結果において、国語は区平均を下回っている。基礎学力の定着が課題である。 ・算数は、新宿区学力定着度調査の結果において、基礎は区平均を上回っている。しかし、応用は区平均に届いていない。応用力を高めていくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の確実な定着と、根拠をもって考える力を育成する。 ・文章構造の理解を深め、説明する力を段階的に高める。 ・タブレット端末やデジタル教材・図書資料等を活した、自ら学びを調整する態度を育成する。 	<p>基礎反復＋語彙強化：音読・漢字・計算・作文の反復学習と、辞書活用の習慣化を図っていく。</p> <p>根拠をもとに考える課題設定：文章や資料から根拠を読み取り、考えを深める課題を設定していく。</p> <p>個別最適な学習の充実：デジタルドリルやタブレット端末で理解度に応じた学習を行っていく。</p> <p>協働的学習の充実：説明活動を中心に、ペア・グループ学習を充実させる。</p> <p>振り返りの習慣化：学習の振り返りを通して、自己の成長に気付くことができるようにしていく。</p> <p>読書・調べ学習の充実：司書教諭と連携し、図書資料を活用した調べ学習の仕方を指導していく。</p>
5 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・新宿区学力定着度調査の結果において、特に書くこと、読むことの問題への正答率が区平均を下回っているのが、課題である。 ・算数は新宿区学力定着度調査の結果において、区平均を上回っている。さらに学力の向上、学級全体の底上げをしておく必要がある。 ・「学びに向かう力等に関する意識調査」の結果において他教科に比べて国語に苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の確実な定着と応用問題に対応できる学力を強化する。 ・読解力・表現力を高め、情報を整理し比較する力を育てる。 ・わり算などのつまずきやすい領域の克服と、主体的に学ぶ態度の育成。 ・タブレット端末やデジタル教材、図書資料等を活用し、学習を調整しながら進める力を育てる。 	<p>基礎反復＋語彙強化：音読・漢字・計算・作文の反復学習と辞書活用の習慣化を図っていく。</p> <p>情報整理の学習：比較・分類・要約などの学習活動を充実できるよう、授業の導入や展開を工夫する。</p> <p>個別最適な学習の充実：デジタルドリル等を活用し、わり算などのつまずきに応じた個別最適な学習を設定していく。</p> <p>協働的学習の充実：ねらいを明示して話し合い活動を行っていく。</p> <p>振り返りの習慣化：導入で既習事項の確認、終末でめあてに基づく振り返りを行っていく。</p> <p>読書・調べ学習の充実：司書教諭と連携し、調べ学習や読書活動を通して資料活用力・語彙力・読解力を高めていく。</p>
6 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・新宿区学力定着度調査の結果において、国語、算数ともに区平均を下回っている。基礎・基本の定着が課題である。 ・国語では、書くこと、読むことは区平均を大きく下回っている。その点を意識しながら取り組ませる必要がある。 ・「学びに向かう力等に関する意識調査」の結果において他教科に比べて国語に苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の確実な定着と、既習事項を活用する力の総合的な育成。 ・情報を整理・分析し、自分の考えを論理的に表現する力の育成。 ・中学校につながる主体的な学習態度の確立。 ・タブレット端末やデジタル教材、図書資料等を活用し、学習を調整しながら進める力を育てる。 	<p>基礎反復＋語彙強化：音読・漢字・計算・作文の反復学習と、辞書活用の習慣化を図っていく。</p> <p>情報活用の学習：複数の資料を活用した、比較・分類・要約などの学習活動を充実できるよう、授業の導入や展開を工夫する。</p> <p>個別最適な学習の充実：デジタルドリル等を活用し、分数・小数・割合などのつまずきに応じた個別最適な学習を設定する。</p> <p>協働的学習の充実：多面的・多角的に問題を捉え、式・図・言葉に関連付けて説明する活動を設定していく。</p> <p>振り返りと学習調整の習慣化：振り返りや自己評価を行い、自分の学習状況を把握し、次の学習に生かせるように意識付けていく。</p> <p>読書・調べ活動の充実：司書教諭と連携し、調べ学習や読書活動を通して資料活用力・語彙力・読解力を高めていく。</p>
特 別 支 援		<ul style="list-style-type: none"> ・漢字や計算などの基礎・基本の定着 ・語彙力の向上 ・話し合い活動、児童同士の学び合いの場を設定。 ・社会的な自立を図る。 	<p>個別支援の学習：個別の指導計画と個別の支援計画に基づき、児童の実態に応じた学習を行っていく。</p> <p>言語表現の学習：経験や出来事を発表し合う活動を通して、友達の話聞く力を育てていく。</p> <p>話し合いの学習：話型を手がかりに、週1回の話し合い活動に取り組みさせていく。</p> <p>個別最適な学習：タブレット端末やワークシートを活用した個別最適な学び、家庭と連携したステップによる既習事項の定着を図っていく。</p> <p>読書活動の充実：司書教諭と連携し、読書や調べ学習を通して語彙とその理解を広げていく。</p>